

2025年入試 合格体験記（R7年卒生）

大阪大学 法学部 法学科【一般選抜】

突然ですが皆さんは勉強において今何ができる状態ですか。私はこのことを自分に問い続けてきました。2年生前半では英語が苦手だったのでひたすら単語帳と文法書を読み込みました。そこで「英単語」と「英文法」を固めたわけです。その後は「古文単語」と「古文の文法」、「漢文の文法」をクリアしました。皆さんご存じの通り難関大学の文系は数学で差がつきやすいのでそこから3年生までひたすら「典型問題」を完璧に解けるように勉強しました。その後は数学の「応用問題」や英語長文を現代文のように読むことによる「英文の読解」に取り組み、夏からは英作文や赤本などに取り組みました。共テについても言えばもっとすべきことは多くなります。ですが、このように出来ないことを一つ一つ潰していきましょう。出来ることが増えた分だけ合格に近づくと思います。例えば、今月までに「典型問題」を解けるようになるとか、もっと細かく、今週までに格子点が解けるようになる、などのように合格までの小さなステップを一つ一つ積み上げていきましょう。長く苦しい受験勉強で疲れることもあると思います。そんな時は友達を頭に浮かべて下さい。あなた同様に頑張っているでしょうし、お互いに励ましあえるでしょう。皆さんのことを応援しています。

大阪大学 理学部 数学科【一般選抜】

私が受験を通して特に重要だったと感じたものを3つ紹介します。

まず1つ目は環境です。私もそうだったのですが家では全然勉強ができていませんでした。なので3年生になってからは学校の自習室や他の勉強ができる環境を探してそこで勉強する習慣をつけました。家で勉強できる人は家でしてもらってもいいのですが、そうでない人はまずは勉強できる環境を探すのが良いでしょう。

2つ目は隙間時間を有効活用することです。昼休みなどの休憩時間や電車での移動時間に英単語帳や古文単語帳を見たりすると良いです。特に英単語や古文単語は忘れやすく、ずっとやっておかなければならないので隙間時間にするのが効果的です。

3つ目は勉強時間を記録することです。私は勉強時間を記録したり友達がどれくらい勉強しているかが分かるアプリを使っていたのですが自分の記録を見ることによって自信を得たり友達が頑張っているのを見て自分も頑張ろうという気になることが出来ました。

最後に、受験直前期や試験当日は本当に不安になります。どれだけ勉強したとしても不安はなかなか消えません。今まで自分がやってきたことが無駄になったらどうしようなどと考えてしまいます。そんなときは友達と話したりして不安を共有しましょう。ものすごく安心できます。不安になりながらも「自分は今まで勉強してきたんだから大丈夫。」と思えたならばあとは運に任せれば何とかなります。受験は辛いこともたくさんあるものですが、自分を成長させてくれるものでもあります。最後まで諦めず、ときには友達と相談しながら頑張ってください。応援しています。

名古屋大学 工学部 機械・航空宇宙工学科【一般選抜】

この合格体験記を書くにあたってどんなアドバイスをもらったら役に立つだろうかなと考えた結果、僕だから書けるなと思ったことを紹介します。

僕は1年の進研模試で確か順位は90~100位くらい、偏差値は英語とか46くらいでした。（全教科計も50くらい?）しかし、3年最後の実テでは偏差値80超えの1位にまで上り詰めました。「偏差値50→80」塾の広告で見るような信用できないやつですよね笑。〇〇のおかげで、みたいな。今回は僕の経験におけるその〇〇をお

教えます。それは、努力です。つまらん回答だと思われるかもしれませんが、僕は自分の努力を誇らしく思っています。ただがむしゃらに今自分にできることを精一杯やり切りました。特別な勉強法をしたつもりは全くありません。基礎の徹底、苦手科目の克服、得意科目の強化、ひとつひとつの積み重ねが合格に結び付いたと確信しています。誰もが勉強したからといって僕みたいに伸びるわけではないとは思いますが、少なくとも努力しないかぎりこんな結果は生まれないのではないのでしょうか。皆さんも自分の可能性を最大限信じてみてください。

あと、ただ周りに勉強頑張れって言われたからではなく、自分から勉強頑張りたいって思えるようになると、勉強も楽しいものになりますよ。そしてそのモチベーションをどう保つかもついでに考えてみてください。勉強を通していろんな経験、成長がありますよ。

九州大学 農学部 生物資源環境学科【一般選抜】

受験を終えて思うことをいくつか書きます。

まずは、英語を早めに固めておいてよかったという事です。私は英語が他の教科よりも得意だったので、2年生の終わり頃にはかなり得点源になっていました。理系にも関わらず、数学と理科が苦手だった私にとって、3年の夏休みの大半を理系科目の勉強に充てることができたのはかなりよかったと思います。勉強時間は英語 2 割、理系科目 8 割くらいでした。

次に、友達と最後までやり切るのが大切だという事です。学校で共テ後の 1 ヶ月間、2 次試験対策の講座を受けていました。友達とわからないところを共有したり、教えあったりできたのはもちろん、勉強以外の話をして息抜きもできました。部活やクラスの友達のおかげでモチベーションを維持できたと思います。受験は団体戦という言葉がありますが、意外とその通りなんだなと思いました。

色々書きましたが、受験はメンタルが最重要だと思います。共通テストや 2 次試験には、切り替える力と圧倒的な自信を持って臨むことができたなら、かなり強いです。僕にはできませんでした。みなさんには後悔のない納得のいく受験をしてほしいと思います。応援しています。

神戸大学 工学部 建築学科【一般選抜】

私が受験勉強を始めたのは高校 2 年生の初めからで、一年のうちから苦手な英語をコツコツやっていたらと反省している。初めは漠然とした目標しか持っていなかったが、当時の担任の先生からの神戸大学の紹介や、親が建築関係の仕事についていて、小さい頃からみてきたことから建築に対する興味が強くなり、神戸大学の建築学科を目指すようになった。

神戸大学は応用よりも基礎を聞く傾向が強いので、私が最も重視したのは基礎学力の徹底的な強化だった。数学や理科は得意分野だったため、過去問を何度も解き、神戸大学の問題の特徴である時間配分を練習して問題に慣れるように努めた。苦手な英語も毎日少しずつ英単語を覚えたり熟語を覚えたりして勉強を続けることで、英作文やリーディングの力を伸ばした。

また、私は塾に通っていなかったため、放課後に学校の自習室に最後まで残って勉強したり、休日には家の近くの図書館に行って勉強しなければならない環境に身を運んでやる気を維持した。わからない問題に当たった時は先生にわかるようになるまで質問に行った。

そして入試本番。苦手な英語は半分は取りたいという気持ちで挑んだ。数学はしっかり落ち着いて解くことができた。理科ではあんなに練習した時間配分を失敗してしまい、最後の方を焦って解いてしまったことが反省点だ。

合格通知を見た瞬間は本当に嬉しく、これまでの努力が報われたことを実感した。受験勉強を通じて、自分の

強みと弱みを見つめ直し、早いうちからコツコツと積み重ねていく大切さを再認識することができた。

筑波大学 人文・文化学群 人文学類【一般選抜】

私が志望校合格に向けて大切にしていたことを3つ紹介します。

1つ目は、どの教科の勉強に対しても、真面目に、丁寧に取り組むことです。ほとんどの大学では、共通テストで5教科+情報を使うことになりますから、苦手な教科、単元であっても、基礎的な部分は完璧に理解しておくべきだと思います。苦手を克服するためには、ひたすら課題などで丁寧に、特に数学や英語などでは、理屈を理解できるようになるまでひたすらに復習を積むことが重要だと思います。逆に、自分の好きな科目や大学で学ぼうとしていることに関しては、さらに貪欲に知識を深めていくと良いと思います。

2つ目は、自分が将来どんな生活を送るのか、イメージを膨らませることです。私は、あまり行ったことのない関東で、どんな暮らしを送り、大学でどんな授業を受け、どんな友人ができるのか等々、色々と妄想していました。受験に対する不安もあると思いますが、楽しい新生活をイメージすることは、大きなモチベーションに繋がるはずです。

3つ目は、諦めないことです。時には成績が伸び悩んだり、模試で良い判定が取れなかったりするかもしれませんが、努力は必ず実ります。受験が全て終わるその時まで、諦めずに挑み続ければ、合格を勝ち取れるはずです。

最後になりますが、残りの高校生活を満喫しつつ、志望校合格に向けて頑張ってください。応援しています！

広島大学 経済学部 経済学科【一般選抜】

私が受験を通して伝えたいことを二つ紹介します。

一つ目は「量より質」という考えを捨てることです。私自身、質ばかりを意識していた頃は、成績が上がった記憶がありません。もちろん、質を意識することは大切です。しかし、量をこなすことができていない状態では質の良さはついてきません。受験の結果は、どれだけの時間を勉強にかけたかで決まります。実際、賢かった周りの人は質どうこう言わず人並み以上の時間を勉強にかけていました。また、量をこなすことは自信にも繋がります。試験の際も、今まで解いてきた問題量の多さが自分を支えてくれた気がします。

二つ目は自分にやじるしを向け続けることです。他者と自分を比べてしまう気持ちは十分わかります。ですが、自分の経験上、他者と比べて良かったことは何もありません。また、他者の存在を意識しすぎるあまり、自分が本当にしなければいけないことを見失うこともありました。周りにいる人は敵ではありません。比べていいのは過去の自分だけです。志望校を決めるのも試験を受けるのも勉強するのも自分です。

最後に、受験は甘くありません。半分以上の人が前期の大学に行けませんし、自分のように第一志望を受けることすらできないかもしれません。それでも、受験を通して必ず人として成長することができます。進路が決まるまで苦しいことがほとんどですが、諦めずに少しずつ頑張ってください。

岡山大学 理学部 化学科【一般選抜】

私が大学受験を振り返って、大切だと思ったことを2つ紹介します。

1つ目はできなかった問題を普段から放置しないことです。受験勉強をする際にわからない問題があったとしてもどこをどうすれば解けたかを理解することで、次に似た問題に出会ったときに解きやすくなります。

2つ目は志望大学のデータを基に自分のすべきことを明確にすることです。例えば、まず最初に志望学部・学科の前年度の合格平均点や得点率などの過去のデータを基に目標点を設定します。その後赤本を解いてみて志望

大学の問題の出題傾向や自分の苦手な部分を明確にします。そうすることで自分が目標とどれくらいの差があるのかを認識することができ、今後の勉強計画を立てやすくなります。このようにして自分の苦手を克服することで目標点を超えるようにしていくことが重要です。

私は2年生までは得意科目を伸ばしていくことに重点を置いてました。しかし、3年生になってからは共通テストや個別試験ではこれ以上得意科目を伸ばすよりも苦手科目を解けるようにする方が得点の伸びしろがあると考え、苦手科目を克服していくことに重点を置きました。また、私が設定した志望大学に対する目標点の少し上の点を取るという気持ちで勉強していきました。このような私の経験も参考にしてみてください。

大学受験で最終的に信じていることができるのは自身がやってきたことです。自信を持って試験に臨んでください！応援しています！

岡山大学 医学部 保健化学科 検査技術専攻【一般選抜】

私が受験期を振り返ってみて、大切だと思ったことは2つあります。

1つ目は継続することです。とにかく日々勉強の積み重ねをしていくことが大切です。週末に10時間勉強するよりも1日3時間勉強し続ける方が効果的です。実際、私は1日に10時間も勉強できたことがありません。放課後自習室に行ったら勉強すると集中できるのでオススメです。

2つ目は一緒に勉強する友達を見つけることです。わからない問題について教え合ったり、自習室で一緒に勉強したり、休憩時間に談笑したりできる友達の存在が私にとって受験期の支えでした。

受験期に辛かったことは10月くらいから始まる模試ラッシュです。ほぼ毎週模試があり、3週間ぶっ続けて学校に行ったこともあります。体力的にもそうですし、自分のしたい勉強がなかなかできなかったこともあり辛かったです。私は放課後自習室で勉強する際にTo Doリストを作り、すべきことを明確にしておくことで自身の勉強を効率化させ、平日中に自分のしたい勉強の時間を確保していました。

これから苦しい日々が続くと思いますが、自分を労わりながら1年間過ごして欲しいです。特に睡眠時間は削られがちですが、ほどほどにしないと頭が働かなくなるし精神的にも辛くなるので、6時間は寝たほうがいいです。将来自分が後悔しないよう、少しずつ頑張ってみてください。応援しています。

岡山大学 工学部 機械システム系【一般選抜】

僕は、受験期に入ってから特に英語の成績が伸びたので、そのきっかけを紹介したいと思います。

2年生の頃に初めて共通テストの英語を解いた時は時間が足りなくて、5割程しか得点できませんでした。それから3年生の1学期まで勉強に身が入らず英語の点数は6割程度で停滞していました。僕は探求先進コースで、周りの人は時間が間に合っているのに自分は間に合っていなかったことにとても焦っていました。それから、単語帳を読むだけという勉強法を改めて、時間を意識した勉強に切り替えました。具体的には、時間を計って過去問や共通テストを想定した問題集をたくさん解きました。時間を間に合わせるポイントは、1度英文を読み切ったらできるだけ読み返さずに直感で選択肢を選ぶことだと思っています。共通テスト本番では、時間も間に合って、目標にしていた7割を大幅に超える点数をとることができました。時間を測って80分集中することは、気だるくて敬遠していましたが、時間を測るようになると成績がかなり伸びました。

これが今、共通テスト英語で悩んでいる人の助けに少しでもなれば幸いです。頑張ってください！

岡山大学 理学部 化学科【一般選抜】

私が大学受験を終えて伝えたいことは 2 つあります。1 つ目は自分に合った勉強場所を定着させることです。受験勉強を始めた当初、私は家で勉強していましたが、周りの誘惑や気の散ることが多く、集中力を維持するのが難しかったです。そこで、私は学校の自習室で勉強してみることにしました。自習室は静かであまり、周りにも勉強している人がたくさんいて、自分の勉強するモチベーションになったので私の集中力を高めることができました。私は、自習室に行くことで「勉強モード」に切り替えることができるようになり、効率的に学習を進めることができました。私は学校が空いている日はできるだけ自習室に行くことを心掛け、自習室で効率的な勉強をすることができたことが合格につながったと思います。

2 つ目は最後までやり遂げることです。私は共通テスト後の判定では D 判定でした。しかし、志望大学を変えず二次試験で逆転してやるという目標を持って勉強しました。私はこの大学に行きたいという気持ちを持って最後までやり遂げることがとても大切だと思います。

受験は大変なことがたくさんあると思いますが目標 持って最後まで頑張ってください。応援しています。

岡山大学 教育学部 学校教育教員養成課程【学校推薦型選抜】

私は受験勉強を始めるのが遅くて苦労しました。英単語などの基礎を固めるのに時間がかかり応用的なことはあまりできませんでした。なので受験勉強は早いうちからコツコツ継続していくことが大切だと思います。そうすることでより充実した対策ができるはずです。

勉強を始めるのが遅かった私でも第一志望の大学に合格することができたのは、模試をしっかりと活用することができたこと、自分に合った受験方法を選べたこと、友達と助け合いながら勉強できたこと、この 3 つが大きいと思います。1 つ目の模試を活用することとは、模試を解いて終わらず、復習に活用することです。わからない英単語に印をつけてまとめるなどできない部分をできるようにするためにうってつけなのでしっかりと活用していきましょう。2 つ目の自分に合った受験方法を調べるとは、自分の得意を活かせる方法や、苦手を避けられる方法を調べることです。私はマークは得意でしたが、筆記は全くできなかったので筆記が必要でない方法で受験しました。このように自分に適した方法を選ぶために自分の志望大学などをしっかりと調べることも大事だと思います。3 つ目の友達と協力するとは、わからないことを友達に質問することです。人それぞれ得意な分野が違うので自分がわからない問題を得意な人に聞くことはできないことができるようになる近道だと思うので積極的に友達に教えてもらい、自分も教えられるようになるといいと思います。

受験勉強は長く苦しい期間になると思いますが、乗り越えると楽しい大学生活が待っている所以頑張ってください！

岡山大学 教育学部 学校教育教員養成課程【学校推薦型選抜】

私の受験期を振り返って、皆さんに伝えたいことを 3 つお話しします。参考になれば幸いです。

1 つ目は「主体性」をもって学びに取り組んでほしいということです。「主体性」とは、自ら考えて行動を起こすということです。受験をするのは他の誰でもなく、あなたです。自分事に捉えることができれば途中で折れてしまいません。自分事に捉えることができたなら、自分のことを分析しましょう。自己分析をし、ゴールと今自分がいる位置の距離を測ってください。そして、目標を立ててください。その目標は受験勉強という暗い闇を明るく照らしてくれるでしょう。

2 つ目は「協働性」をもって学びに取り組んでほしいということです。「協働性」とは、仲間と同じ目標に向かってともに考え、行動することです。受験は辛く長い道のりです。そこで支えになるのは仲間の存在です。それはとらに

いる友達、ここに座っている先輩達、いつもお世話になっている先生方、なのかもしれません。人と関わることで見えてくるものが必ずあるはずです。

3 つ目は絶対に受かってやるという強い意志を持つてほしいということです。自堕落な生活に辟易しても、志望理由書が書けずに一人廊下で泣いても、共通テストの点が足りていなくても、私は粘り強く努力し続けました。私には反面教師にしてほしい点が多くありますが、これだけはぜひ見習ってほしいことだと自負しています。絶対に受かってやるという強い意志を今、堅めてください。そして、頑張っていてください。応援しています!!!

岡山大学 工学部 機械システム系【学校推薦型選抜】

私が大学受験を振り返って、大切だと感じたことを紹介します。

1 つ目は、その大学でなければならないという明確な理由と強い意志を持つことです。私は、学校推薦だったので、志望理由書は30回近く書き直し、面接練習は約3週間、口頭試問対策はそれ以上行ってきました。また、大学の研究や特色についてすらすらと語れるくらいには調べあげました。これらの努力のおかげで合格につながったと思います。

2 つ目は、ストレスを上手に発散させることだと思います。ストレスは受験勉強からだけでなく、受験でピリついた雰囲気や先生との話し合いなど、様々なことが要因で溜まっていくと思います。そのまま放置してしまうと、自身の受験勉強にまで支障がでてきます。そのため、月に1, 2回は休息日を作って、“心”を休めることも大切です。

3 つ目は、早く寝て、睡眠時間は7時間をとることです。受験生にとって、7時間も寝ることには抵抗があると思いますが、できる限り睡眠はとるべきです。睡眠不足では、集中力も作業効率も大幅に下がってしまいます。そのため、睡眠はしっかりととり、効率の良い勉強ができるように心がけましょう。

これら3つのこと念頭に、辛い受験を乗り越えてください。

岡山大学 工学部 化学・生命系【学校推薦型選抜】

私が、受験期に意識していたことを二つ紹介します。

1 つ目は、普段の勉強を疎かにしないことです。私が受験したものは共通テストを必要としないものでしたが前期試験も見据えて推薦で使わない科目も毎日勉強していました。試験で使わなかったとしてもこれからの人生の糧になるはずです。しっかり勉強してください。

2 つ目は、継続することです。私は、通学時間で英単語を覚えることを心がけていました。毎日継続することで本番の自信につながったと思っています。

最後に毎日勉強することも大切ですが息抜きもしっかりしてください。私は定期的に体を動かしていました。本番の前日には好きなことをして緊張をほぐしましょう。頑張ってください。

岡山大学 法学部 法学科【総合型選抜】

私が受験勉強を終えて、やっておいて良かった、もっとこうしておけば良かったと思ったことを紹介したいと思います。

まず、やっておいて良かったと思ったことを2つ紹介します。

1 つ目は、継続した勉強です。私は1年の11月頃からほぼ毎日、放課後になれば自習室に行き、最終下校時刻まで残って勉強していました。土曜日も学校に行って勉強しました。3 年になったら放課後の勉強にプラスして、朝も自習室に行き勉強をする習慣をつけました。学校の自習室にいる時間は人より長かったと思います。

2つ目は、生徒会活動や ACT 活動に真剣に取り組んだことです。私はこれらの活動を通して、多くの力を身につけることができたと思います。この経験や身につけた力は総合型選抜を受ける際に大いに役立ちました。また、受験だけでなく、これから社会に出て生きていく上でも役に立ってくると思っています。

次にやっておけば良かったと思っていることを1つ紹介したいと思います。それは苦手科目の克服です。私は数学がとても苦手で、テストも模試も納得のいく点数が取れませんでした。勉強をしていなかったわけではないのですが、他の教科に比べたら勉強時間が短かったと改めて思っています。共通テスト本番でもやはりいい点数は取れませんでした。この数学の点数が足を引っ張り、前期は岡山大学ではなく他の大学に出願することになりました。もっと勉強していればとても後悔したのを覚えています。

みなさんもこれから先、辛い受験勉強が続くと思います。まずは、体調第一で無理のない勉強をしていてください！応援しています！

香川大学 法学部 法学科【一般選抜】

私が自身の経験を基に伝えたいこと、それは決して諦めないことです。

私が受験勉強を本格的に始めたのは、部活を引退してからで、それまであまり受験を意識したことはありませんでした。そのため、高3の6月の共テ模試では、英語が3割未満、国語が4割という絶望的な点数からのスタートでした。

夏休みに入ってから、毎日自習室で6時間以上+家で4時間以上勉強する、というノルマを設定し、日々計画を立てて基礎から(英語は単語帳から)徹底的に取り組みました。朝起きてから夜寝るまで、勉強のことは常に考えていました。勉強は辛かったですが、部活で鍛えた忍耐力と、第一志望大学に絶対合格してやるという強い気持ちを持って、なんとか頑張ることができました。努力を続けた結果、模試の点数は伸び、共テでは英語7割、国語8割を達成し、第一志望大学に受けることができました。

また私は受験期に、部屋に「奇跡は起こすためにある」という、広島東洋カープ元監督の三村敏之さんの言葉を書いた紙を貼り、自らを奮い立たせていました。皆さんの中にも、自分の点数がまだ志望大学の合格ラインに達していないという人がいるかもしれません。そんなときはこの言葉を思い出してみてください。そして、決して諦めないで下さい。私のような絶望的な点数からでも、毎日少しずつ前に進もうと努力すれば、合格することは十分に可能だと思います。周りの人と比べ過ぎずに、最後に笑うのは自分だ!という強い意志を持って、周りの人の支えに感謝しながら、第一志望大学への合格を勝ち取って下さい!心から応援しています!

香川大学 創造工学部【一般選抜】

僕が受験を終えて良かったことを3つ紹介します。

1つ目はとにかく勉強に時間を費やすことです。僕は3年生になってから毎朝6時に起床し、誰よりも早く学校に登校して勉強し、放課後も19時まで自習室に残って誰よりも遅く下校したり、入浴中でも勉強に励んでいました。1、2年生で勉強をしてこなかった分追いつかないといけないという気持ちがあったからです。とにかくがむしゃらに勉強していく上で、自分にあった勉強方法が分かって、質があげられたと思います。

2つ目は周りの友達を頼ることです。受験が迫ってきて不安になったり、思ったように問題が解けなかったりいろいろありましたが、土曜日に自習室に行こうと誘ってくれたり、模試の結果を励ましてくれたり、今思い返してみれば数えきれないほど友達に助けられてきました。

3つ目は同じ場所で勉強しないことです。いくら集中できていても同じ場所で長時間勉強していれば次第に効

率が悪くなってしまいます。なので教室、自習室、塾、図書館、駅前の勉強スペースを転々としていました。疲れたら場所を変えて気持ちを切り替えたり、勉強する教科を変えてしまっても構わないと思います。

最後に、模試の結果に一喜一憂せずに頑張ってください。思うように結果が出せなくてつらいときもあると思います。僕は9月までE判定でした。できなかった問題を復習して、できる問題が増えてくると勉強も楽しくなってくるはず。諦めずに最後まで頑張ってください!!

香川大学 教育学部 小学校教育コース【学校推薦型選抜】

私が香川大学を受験しようと思ったのは8月の終わり頃です。自分が今まで頑張ってきたことや教師になりたいという強い思いを直接伝えられる学校推薦型選抜を受けることに決めました。そこから3ヶ月間は共通テストの勉強と並行して、志望理由書の作成や小論文、面接対策を行いました。

私が受験を通して皆さんに伝えたいことは2つあります。1つ目は勉強以外のことにも主体的に取り組むことです。私は部活動やボランティア活動はもちろん、ACTや学校外のイベントにもっと関心を持ち、参加すればよかったと後悔しています。自分が実際に見て、調べて、考えたこと、経験したことは他の人にはない強みになり、後に必ず繋がってきます。なのでできるだけ早い段階から主体的に物事に挑戦することをおすすめします。

2つ目は友達や先生と頑張ることです。私は友達と朝早くから自習室へ行き、下校時刻ぎりぎりまで残って勉強をしていました。推薦対策でも互いにアドバイスや面接練習をし合っていました。学部は違いましたが、様々な立場の人から助言をもらえ、とても学びになりました。また、先生方の存在も大きかったです。真剣に進路に向き合ってくださり、何度も考え、助言をしてくださいました。先生方は経験豊富で知識も多く持っていらっしゃるの、得られる学びもたくさんあります。受験は団体戦という言葉があるように友達や先生、家族、先輩後輩など周りのたくさんの人達と頑張ってください。応援しています。

香川大学 農学部 応用生物科学科【学校推薦型選抜】

私は共通テストと志望理由書を利用する学校推薦型で大学に合格しました。ですが、共通テストを受けるまで私は共通テストがどんな結果であれ、一般選抜で入試を受けようと考えていました。なぜなら私は面接や小論文にすごく苦手意識があったからです。それにもかかわらず、志望理由書を書く必要のある学校推薦型での出願をした理由は、第一志望の岡山大学の判定がC判定であり良いものではなく、挑戦しようかしまいかと悩んでいたときに担任の先生から香川大学の推薦を勧められたからです。勧められたときは自分に志望理由書を書ける気がしないしどうしようと思っていたのですが、安全性を考えると香川大学のほうが良いと考え、香川大学の推薦を受験する決断をしました。志望理由書を書くのは提出期限が短いということもありすごく大変で、担任の先生に助けてもらいながらなんとか形にしました。

私が受験期で学んだことは睡眠時間の大切さです。私は夜遅くまで勉強することが多かったのですが、ショートスリーパーというわけでもなかったのもので、授業に集中できないしメンタルはボロボロになるで大変でした。受験勉強は安定したメンタルが必要だと思うのでしっかり寝るべきです。私は共通テスト直前は8時間ぐらい寝てました。そのおかげなのかは分かりませんが、共通テスト本番は今までで一番高い点数が取れました。体と心が健康だったらなんとかなると私は思うので、体調管理をしっかりして受験勉強頑張ってください。

香川大学 経済学部 経済学科【学校推薦型選抜】

私が受験期に大切にすることを2つ紹介します。

1つ目は共通テストに集中することです。共通テストの点数が合否に影響を与えます。2次試験で挽回することもできるかもしれませんが、とてもプレッシャーがかかるので共通テストを目標に勉強をすることをおすすめします。また、共通テストの科目は多いので、私は共通テストまであと何日かを数えて共通テスト前までに参考書を終わらせるようにするには1日何ページを解けばいいか考えて、1日の目標を決めてから取り組んでいました。そうすることでテスト目前に焦ることがなくなり緊張が少し和らいだ気がしました。

2つ目は健康に気をつけることです。風邪やインフルエンザ、コロナウイルスなどにかかりやすくなる時期なので、万全の状態テストに挑むために予防をする必要があります。私の経験では睡眠時間を削っての勉強は頭痛を起こしたり、気分を悪くしたりすることにつながるのでやめた方がいいです。また、共通テストは本試験より追試験の方が難しいので本試験を受けれるように体調に気をつけてください。

最後に、頑張る過程が大事なので結果にこだわりすぎず、自分がもう少しすればよかったと後悔しないように頑張ってください！

愛媛大学 工学部 工学科【一般選抜】

私が大学受験を通じて感じたことを紹介します。まず、志望校の決定は早いほうが良いということです。私は特に私立の志望校決定が遅く、勉強をしなければならない時期に出願までの準備が把握できていなかったため、それに時間を取られてしまい気持ち的にも良くなかったです。また、決定が遅いと過去問の取り組みも遅くなります。大切なことは、自分がやりたい分野を見つけ、日頃から大学調べを徹底していくことです。時間が経つにつれて大学調べよりも勉強を優先してしまいがちですが、次の年の受験であれば最低でも12月前までは大学について調べる時間を設けても良いと思いました。次に、生活習慣を確立させることです。みんなと同じにしようとせず、自分のスタイルにあった生活で睡眠時間と食事と運動を継続することが大切だと思います。勉強について、私は平日は朝の授業前に1時間と放課後から塾の時間までの勉強時間の確保を徹底して行いました。生活習慣を作ることで日々の授業や勉強に集中して取り組むことができ、さらに本番に近づくにつれて体調管理をすることにも繋がってきます。最後に勉強についてです。大切なことはたくさんありますが、一つはアウトプットをすることです。習ったことを復習するときに知識を取り入れるだけでは忘れてしまいます。時間をおいて、やったことを再現しようとし、何が重要なことを考え、さらに教科書や参考書に戻って見ることでより理解が深まります。もう一つ、短時間集中が大切です。長時間だらだらとやるよりも、時間を計って解くこと、そして休憩を設けることが良いと思います。私は集中できないときは、外に出たり、寝たり、場所を変えたりすることで気持ちを切り替えられました。また、何時間やる、という目標よりも、何の勉強をやる、という目標の方が勉強に取り組むやすいと思いました。受験は個人戦であり団体戦でもあります。クラスや学年の仲間と受験の雰囲気を作り、時には友達や先生に頼りながら勉強ができることも良いと思います。

島根大学 人間科学部 人間科学科【一般選抜】

私が志望校に合格するまでを振り返って、重要だと感じたことをいくつか紹介します。一つ目は、志望校を早めに決めることです。私は、2年生の夏までに志望校を決めていたおかげで、模試の判定が悪くても(2年の1月はE判定でした)、焦って志望校を下げることなく、なおかつ、早い段階から危機感を持って苦手克服に努めることができました。模試の結果に一喜一憂するのは良くないです。模試はあくまでも模試なので、本番に向けて時間配分

の練習や、苦手な分野を見つける手段として活用してください。やりたいことが見つからなくて、志望校を決めるのが難しいと感じる人も多いと思います。私は色々な大学のオープンキャンパスに積極的に参加して興味のある講義や教授を見つけたり、苦手な数学が 1 科目だけで受験できる大学を探したりして志望校を決定しました。あくまで私の方法ですが、参考になれば幸いです。2 つ目は、定期テストや課題、日々の授業をおろそかにしないことです。先生たちが言う「学校の授業は受験に直結している」は本当です。実際、定期テストのために覚えた知識が今年の共通テストでも出題されて嬉しかったことを覚えています。どうせやらなければならないのなら、自分の勉強に最大限活用するのがおすすめです。評定も上がって推薦も有利になるので一石二鳥です。努力は割と報われます!頑張ってください!

島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科【総合型選抜】

私は、三年生の 6 月頃に志望校を決定しました。そして 10 月頃から本格的に志望理由書などの資料作成や面接練習を始めました。

基本的な話にはなりますが推薦の場合、内申点が高いと少しは安心できるので、今の時点で推薦を受けようと思っていなくても、もしかしたら受けることになるかもしれないので提出物を出すことは大事だと思います。

私は O.C に行って大学の雰囲気や行った時の直感も大学の決め手になりました。気になる大学があれば O.C に行くと考えが変わることもあります。

私は、面接練習を通して、自分が将来何をしたいのかが明確になりました。将来像や大学で何を学びたいのかを色々な言葉で自然に説明できるまでたくさん練習することが大切だと思います。また、自分自身のことについての質問に備えて考える中で自分を見つめ直すこともできました。

他にも、高校生活の中で一つでもいいので努力し続けるという経験をする则自分の成長に繋がるし、高校生活を充実できたなと感じられると思います。

推薦入試の中でも少し入試日が早かったので、周りの人たちと状況が違中、毎日書類の修正や面接練習をし、しんどいときもありました。しかし、担当して下さった先生を信じ、自分を信じて最後まで頑張りました。不安があっても当日は自信だけを持って力を出し切ってください!応援しています!

福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科【一般選抜】

僕は元々経営学や社会学に興味を持っていたが、正直にいうとやりたい事が具体的には決まっていませんでした。しかし福山市立大学は、経済学や社会学、工学など様々な分野の学問を学ぶことができ、そこから自分が興味を持った分野に特化して専門的に学べるところが今の自分にピッタリだと感じました。そこから「この大学に行きたい!」という気持ちが強く芽生えました。

受験勉強を本格的に始めたのは、高 2 の冬休み頃です。古文単語や英単語、日本史の語句など抜けていた知識を隙なく埋めて、数学や理科の計算問題を何度も解いて、解き方や考え方を暗記するようにしました。冬休み明けにあった模試では今までにないくらい良い成績を取ることができ、頑張った分だけ結果が出ることの楽しさを実感することができ、これからのやる気にも繋がるきっかけになったと思います。

参考書は、なるべく新しいものには手を出さず、学校で配られた問題集や単語帳などを徹底的にやり込むようにしていた。ですが、必要に応じて自分に合った参考書を選んで買ってみるのも良いかもしれません。

スランプに陥った時期は、共通テストが終わった後です。得点がボーダーラインに達しておらず、倍率も高くてすごく不安でした。そんな時に、色々なサポートをして下さる先生方、いつも応援してくれる家族、共に頑張ろう仲間

など、色々な人の存在があったからこそ不安で苦しい時期を乗り越えることができたと本当に感じています。皆さんも、皆さんも、思うように成績が上がらなかったり模試の結果が伸び悩んだりして落ち込んだり不安に感じることもあると思います。そういった時は自分の周りにいる人のことを思い出してみてください。自分を応援してくれる人や支えてくれる人の存在は大きな力になるはずです。困った時は周りに頼りつつ、将来自分が思い通りの進路を歩めるように、残りの高校生活を大切に過ごし、最後まで諦めずに全力で頑張ってください。

新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科【一般選抜】

私が受験勉強を振り返って大切だと思ったことを紹介します。一つ目は最後まで自分の夢を追い続けることです。私は 1 回目に受けた学校推薦型選抜では不合格になり、その時はメンタル面でも不安定な状態が続きました。その後に共通テストを受けて結果的に今までの実力が十分に発揮できず、第一志望校とは違う大学を受験しようと決めました。共通テスト後の二次試験までの 1 ヶ月間は小論文では志望校の過去問を繰り返し解いて問題の傾向を掴んだり、面接ではどんな質問をされても自分の中で答えがすぐ出せるように面接ノートを作り、いろんな質問に対する自分の考えや思いをメモ書きして自分の言葉で話せるように家や学校で喋る練習をしました。新聞の記事も自分の進路に関する分野のニュースなどはチェックしておく役に立ちます。受験の途中段階である共通テストで悔しい思いをしても、そこで諦めずに自分なりに努力し続けることで最後には嬉しい結果が待っていることが私の中でも証明された体験でした。二つ目は周りの存在です。受験勉強は精神的にも体力的にも本当にしんどい思いをすることが多いです。3 年生になってから模試などが増えます。そんな中で毎回 1 人で問題に向き合い、誰にも相談せずに勉強を続けることは不安につながります。私は模試の点数を友達と競ったり、お互いに教え合ったり、家族や先生に進路のことを早い時期から相談したりして 1 人で抱え込みすぎないようにしていました。これから大変な 1 年になると思いますが、この 1 年間で後悔しない受験期になるように自分の夢に向けて自分のペースで頑張り続けて欲しいです。応援しています！

新見公立大学 健康科学部 看護学科【一般選抜】

私は高校入学以前から将来の夢が決まっていた為、志望校は取得出来る資格重視で決めました。志望校のホームページやパンフレット、オープンキャンパスで魅力を発見する度に志望校への想いが強くなり、それが、受験勉強のモチベーションを高めてくれました。勉強面では、休み時間や通学時に小テスト勉強をしたり、単語を覚えたりと、すき間時間を有効活用していました。部活引退後は今までと環境を変えたいと思い、近所の図書館の自習室を利用し、集中して質の高い勉強が出来るよう工夫しました。入試対策では、早い時期から気になるニュースをメモしたり、面接対策ノートを作ったり、小論文の本を読んだりしました。小論文模試や対策講座への参加、過去問や面接練習を繰り返し、しっかりと準備しました。受験当日、緊張や不安を和らげてくれたのは周りから掛けてもらった言葉や、これまで頑張ってきた過程でした。頑張りが報われず、自信を無くしたり、投げ出したくなったりする事もあると思いますが、最後まで諦めず自分の強い意志を貫いて下さい。今までの努力の積み重ねはきっと自分の中の強いお守りとなり、安心と自信に繋がるはずです。私も受験前、直前に祖母を亡くし、悲しみと寂しさ、受験への不安で押し潰されそうで、精神的に凄くきつかったです。ですが、家族や友人、先生方に様々な面で支えられて乗り越える事が出来ました。“ひとりじゃない”という事を忘れず、困った時には周囲の力も借りながら頑張ってください。応援しています！

和歌山大学 観光学部 観光学科【総合型選抜】

私が受験を通して特に大事だと思うことは、情報をできるだけ早く、多く集めるということです。例えば、志望大学の入試科目は何で、問題や面接の傾向について。受験をするにあたって必要だったり有利になる資格（英検など）はないか。そして、先輩から受験勉強のコツやメンタルの保ち方について聞くのもとても大切です。私は受験は情報戦でもあると思っていて、志望大学合格を掴み取るヒントにもなります。それだけ情報は大事なものでできるだけ早くから集めるようにしてほしいと思います。

また、2 年次の ACT の課題探求は推薦などの受験においてとても重要です。大学で学びたいと思っていることに関して探求することで、志望理由書に「こんなことを高校で探求した。だからこの大学で学びたいんだ」というように書くことができ、面接でも大いにアピールすることができました。決して ACT の活動を疎かにせず、受験につながるとして取り組んで欲しいと思います。

受験勉強は思っている何倍もしんどいです。ですが、周りの友達や、先生、家族、先輩など様々な人々に頼ることが何よりも大事です。無理せず自分の身体を大切に頑張ってください。応援しています。

山口大学 経済学部 観光政策学科 【学校推薦型選抜】

僕は学校型推薦で合格が決まったので、今推薦を考えている人に何かプラスになることをお話できればなと思います。

僕が推薦入試で必要だったものは、志望理由書と小論文と内申点でした。それぞれに担当の先生が付いてくれました。まず、志望理由書は、大学のホームページに書いてあるアドミッションポリシーや学部の特徴をしっかりと踏まえてから、自分の合格したいという意志をしっかりと書くことが大切です。次に小論文です。小論文ではある問題に対して自分の考えを書かなければならず、僕はその問題が本当に苦手でした。担当してくれる先生に出しても出してもダメ出しをくらい、精神的に少しキツかったときもあります。しかし、大学に合格するためには耐えなければならないと思い自分なりに一生懸命に取り組んでいました。僕は過去問題を 7、8 年解いたのですが、最後の方は自分でも納得のいくような文章を書くことが出来るようになりました。そして、内申点は 3 年間の考査や提出物が直結しているため、1 年生の頃からコツコツと頑張る必要があります。

最後に、僕が受験期に 1 番大切だと思ったことは友達や家族の存在です。自分 1 人だけでやっていける人もいますが、僕は友達が頑張っている姿を見て僕も頑張ろうと思えたり、家で勉強をするのがきつくなったときに親と話をしてリラックスできたりしました。そのおかげで最後まで頑張り続けることができました。また、たまには休憩をして体調を崩さないようにすることも受験に望む上で大切な事だと思います。

岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科 【学校推薦型選抜】

私が受験勉強を通して大切だと感じた 2 つの事を紹介します。

1 つ目は、自分が将来何をしたいかという目標を明確にしておくことです。大学で何を学びたいのか、将来何をしたいのか、何になりたいのか。これらの明確な目標があるからこそぶれずに努力できたと思います。そして、志望理由書の作成や面接の志望理由などにも十分活かすことができたと思います。

2 つ目は、早くから対策をすることです。私は受験の際に、志望理由書、小論文、口頭試問、面接が必要だったのですが、早めからの対策を常に心がけていました。特に、医療に関するニュースを知るために、2 年生の 1 月頃から新聞記事を切り取って、興味関心のあることを調べるという作業を行っていました。面接や小論文対策にもなって、自分自身にとって必要なことだったと思います。

受験勉強に励む日々の中、先生方や友達にたくさん支えてもらって乗り越えることができました。1人で抱え込まず、周りの人を頼って頑張ることも大切だと思います。最後まで目標を持って頑張ってください。

高知大学 農林海洋科学部 海洋資源学科 海洋生物生産学コース【学校推薦型選抜】

私は進路について3年の6月まで悩んでいました。高校での探究活動や授業を経て、自分の興味が、それまで考えていた進路と違うことが分かってきたからです。その時期に進路の方向を大きく変えるのは勇気がいりましたが、慎重に考えて、後悔しない方を選びました。大学は自分が知りたいことを自ら学びに行くところです。自分の興味は進路決定の1番のカギだと思います。

私は2年の夏休み頃から部活後は自習室が閉まるまで勉強していました。自習室は周りが全員勉強していてサボれません。予習と復習、課題を全力でこなすだけで学力がつくとは思いますが、先生から配布される問題集や共テの過去問はやった方がいいです。私は沢山やるというより、解説が全て理解できるまで資料集片手に繰り返し読んで解き直しをしました。資料集は何度も読み返してください。楽しい勉強になります。

面接は、早い時期に受験する人は余裕持って練習できるように手続きを早めに。私は共テ後から動いたので練習期間10日でした。先生のアドバイスはちゃんとメモ！面接で大事なのはかっこつけすぎないことです。書いたのを覚えるのでなくて、自分から出てくることを言った方がいい。絶対そっちの方が会話みたいで自分も面接官も楽しいです。言い間違いをしても、大学と学問への情熱が伝わればそれで成功です。私も信じられないことに名前と出身校言う時しくじりましたがなんとか通れたので大丈夫！

自分の熱意に自信を持ちましょう。悲観的にも楽観的にもならず、たまに息抜きしながら全力で受験に挑んでください。頑張れよ～！

兵庫県立大学 国際商経学部 国際商経学科【学校推薦型選抜】

私が受験勉強を振り返って特に大切にしていたことは3つあります。

一つ目は、毎日勉強時間を確保し、小さな努力を積み重ねることです。どんなに朝起きるのが辛くても朝早くから自習室に行き、放課後は終礼が終わった後にすぐ自習室に最終時間まで残っていました。受験期は平日6時間、休日は10～12時間勉強することができました。受験勉強はとにかく早く始めた者勝ちです。

二つ目は、一緒に頑張れる友達を大切にすることです。毎日自習室に朝早くから来て夜遅くまで勉強し、夏休みも毎日学校に来て一緒に勉強する仲間たちがいたからこそ、受験期を乗り越えることができたし、モチベーションとなっていました。目標を伝え合って高めあったり、疲れたらおしゃべりしたりと、一緒に勉強を頑張る仲間がいなければ頑張ることができなかったと思います。

三つ目は、志望大学への強い気持ちです。私の志望の大学は一般試験では苦手な数学があり、推薦では英語の長文を読んで小論文を書く、という形態だったので諦めかけていました。しかし、チャンスを逃すと後悔すると思い推薦入試を受けることにしました。不安でいっぱいになった時にモチベーションとなったのはやはり志望大学に行きたい気持ちだと思います。

しんどい思いをする一年になると思いますが、自分を信じ、友達や先生方の助けを借りながら、目標に向かって頑張り、自分が後悔しない受験期を過ごして欲しいと思います。自分自身を奮い立たせ、人生の中で1番勉強したなと思える一年にしてください。

下関市立大学 経済学部 国際商学科【学校推薦型選抜】

私の受験方法は小論文を使う推薦型選抜だったので、小論文対策の中でやっていて良かったと感じることを紹介します。

1 つ目は社会情勢についての知識を身につけることです。小論文は作文や感想とは違って、課題文やグラフの重要ところを見つけて、根拠や具体的な事例をあげて論じなければなりません。そこで重要になってくるのが、社会情勢についての知識や、社会で問題となっていることに対する自分の意見や立場の認識です。私はこれらの力をつけるため日頃からニュースをみたり、小論文の完全ネタ本という本を読んで知識を身につけました。入試問題は直近に作られるわけではないと思うので、少し前に話題になったことに注目するのも良いと思います。また日本の高度経済成長期頃やそれ以降に起きたことを年表順に覚えることも重要です。

2 つ目は過去問を解いた後の添削を怠らないことです。もちろん過去問を何年分も解いて量をこなすことが大切ですが、私は担当の先生に添削をしていただいた後にもう一度書き直してよりよい文にしていけることも大切にしていました。これをする事で自分は何が苦手なのか分かり、そこに重点をおいて対策することで書く力を効率よく身につけることができると思います。

受験期は不安でいっぱい、1 年になるとと思いますが、決して 1 人ではなく一緒に乗り越える仲間がたくさんいます。後悔のないように体に気をつけて頑張ってください！

奈良教育大学 教育学部 書道教育学科【総合型選抜】

私が受験を通して感じたことを2つ紹介します。

1 つ目は、前向きな気持ちを持つことの大切さです。私は総合型選抜の一次試験の時、思うようにいかず悔しさと怖さでいっぱいでした。ですが、指導していただいた先生方から前向きな言葉をかけてもらい、自分の可能性を信じて頑張ろうと思うことができました。その後も常に不安でしたが、大学生活での楽しみなことを想像しながらモチベーションを上げることができたため、最後まで頑張ることができたと思います。

2 つ目は、サポートしてくださった先生方への感謝の気持ちです。一次試験では志望理由書や面接など、私だけでは行き詰まることばかりでした。けれど、先生方が私が困るたびに手厚くサポートしてくださったおかげで良い結果を得ることができました。

受験は不安なことだらけですが、学校には同じように悩む友達と、その悩みと真剣に向き合ってくれる先生方がいます。だから、一人で抱えず周りの人に吐き出しながら、満足いく結果を得られるよう頑張ってください。

広島市立大学 情報科学科 医用情報科学部【学校推薦型選抜】

私が受験を通して大切に思ったことを紹介します。

まず、自分の進路や志望校をできるだけ早く決めることです。3 年生になる前に行きたい学校では推薦入試を受けることができると知り、その時から挑戦しようと思っていました。夏より前から自分のやりたいことや将来像などを考え、推薦入試の志望理由書や活動報告書などの作成に取り組みました。受験日が近づくに連れて焦りはありませんでしたが、面接では自分の将来について明確な目標を立て、今まで行ってきたことがどう大学生活に繋がられるのかを具体的にリストアップしたことで、つまり答えることができました。総合問題でも早めに過去問を何回も解き、自分の苦手を知り、同じ分野の問題を重点的に参考書などを用いて学習することで対策することができました。志望校を早く決めることで、入試方法も選べ、対策にも早く取り組むことが出来ます。

次に、自分が将来何をしたいかや、どのような人になりたいかを具体的に考えておくことです。私は面接で ACT に行ったことについて話しました。1、2 年生の時の ACT の時間では受験に関係するとはそこまで思っていない

でした。ですがいざ使うとなって、自信を持って答えるために、今まで自分がしてきた事がどのように目標に繋がるのかを明確に自分の中に持っておくことで、文章を覚えなくても、キーワードさえ頭にあれば自然と言葉に表すことが出来ました。

私が学んだことをまとめると、志望校を早く決定し、先々のことを考え計画しながら行動することです。そうすることで、今までの活動を受験により活かしていくことができるのでは無いかと思います。最後までみなさんも頑張ってください。